

令和3年度 事業報告

施設名 たんぽぽ

事業年度	定員(人)			児童数(年平均)			充足率(%)			延長保育利用人数(延人数)		園庭開放他(延人数)	
	1号	2,3号		1号	2,3号		1号	2,3号		30分延長	1時間延長		
平成29年度	12人	12人		12人	12人		96%	96%		人	人		人
平成30年度	12人	12人		12人	12人		99%	99%		人	人		4人
令和元年度	12人	12人		12人	12人		100%	100%		人	人		13人
令和2年度	12人	12人		7人	7人		59%	59%		人	人		0人
令和3年度	12人	12人		8人	8人		66%	66%		人	人		0人

法人の基本方針	重点目標	計画(P)	実践内容(D)	評価(C)	改善(A)
人権の尊重	★教育・保育理念 同朋福祉会創立者江川義清の「人は大切、子は宝」の理念のもとに、乳幼児を保育する中、人間尊重と子ども第一主義で子どもの最善の利益を追求し、積極的に福祉の増進を図る	・人権擁護チェックリスト(年2回実施) ・主体性を尊重し、一人一人の思いを受容する	・研修と、年2回のチェックリストに基づき自らの保育を見直す機会を設けた ・保護者の思いも合わせた個別計画を作成し、半期で評価反省振り返りの実施	・職員間でその都度声を掛け合いながら留意し合える関係性が作れた ・小さな環境下での保育がメットとなり、一人一人のサインを見逃さず丁寧に対応出来た。保護者とも個別計画を共有し、同じ思いを掲げながら保育に努めた	・定期的なチェック機能と風通しの良い関係性を構築し、保育の質の向上を目指す ・子どもの思いやしたいあそびを尊重できるよう、時間配分や職員配置を工夫する
サービスの質の向上	・子ども、家族の支援 ・説明責任の徹底	・送迎時、一人一人の保護者と丁寧に関わる ・保護者参加型の行事を実施 ・アンケートでニーズを把握。見直、改善返答の周知 ・卒園に向け、適切な説明責任を果たす、引継書作成 ・重要事項説明会を実施	・一人一エピソード。今日も元気でしたで見送らない ・コロナ禍でも安全にできる方法を工夫し実施した ・アンケートは意見と改善案をおたより等で共有した ・卒園後の行先の相談に乗り、引継書を作成した ・二家庭ずつ、説明会を実施。入園時の不安を解消出来るよう丁寧な説明を心がけた	・子どもの様子を日々伝えることで、関係性も密になり、家庭と園で子どもの成長を喜び合う時間が増えた ・年齢に応じた無理のない内容で実施が出来た ・アンケートで頂いた意見を反映し、寄り添った運営に繋げることが出来た ・卒園児4名は希望施設に入所出来た(内、連携枠1名) ・少数で実施した為、質問等も上がりやすく、一家庭ごとの時間もしっかり設けることが出来た	・第2のおうちを目指し今後もあたたかな支援をを継続する ・中止でなくコロナ禍でも出来る内容を検討し、実施することで、子どもの成長を感じられる機会を大切にする ・行事ごと、年度末アンケートの継続的な実施とより良い運営に繋げるよう努める ・事業の存続に関する同意も入園時にとり、丁寧な事前説明とトラブル回避に努める ・少人数での実施を継続し、意見が言いやすい雰囲気作りを努める
地域との共生	・子育て支援 ・地域に開かれた施設	・地域開放「小規模保育園へようこそ」を実施 ・一時保育の実施 ・自治会の加入 ・地域清掃、公園の安全チェックを実施	・コロナの感染状況を鑑み実施なし ・一時保育受入 実績46名(昨年6名) ・自治会加入 ・地域清掃(月1回) 公園の安全チェック(月2回)	・地域の方を招いての実施は感染対策の観点から行わなかった ・問い合わせが増え空きがある日に積極的に受けることが出来た ・職員配置が2名の為、実施できる日が限られ、予定通りに実施出来なかった	・戸外での活動や、制作キットの配布等、新たな内容を検討し実施する ・一時保育を積極的に受け入れることで新規入園に繋げる ・姉妹園と協力しながら、計画的に実施する
人人事材・育底務管理切のな	・働きやすい職場づくり ・職員の質の向上	・役割分担表を作成 ・責任者との面談 ・行動計画の周知徹底 ・無期雇用への転換推進 ・園内研修を実施 ・外部研修の受講と周知 ・合同研修を実施	・役割を明確にし、業務の効率化を図った ・有休取得率65%以上達成 ・職員アンケートを実施し、研修や改善に取り入れた	・役割を明確にしたことで、新しい業務に挑戦し、キャリアアップした姿も見られた ・コロナ休業補償の活用により、有休消化目標の達成が例年より困難であった ・特定の職員に負担が偏る、非正規のみで保育する時の不安があがった。挑戦したいことの計画の支援を行った	・今後も役割を明確にし、一人一人の達成感や業務の効率化を目指す ・計画的に有休消化に努め、目標達成を継続する ・職員体制が大きく変わる為、職員の思いを吐き出す場を月1回設け、学びの場と快適に働ける環境整備に努める